ボーイスカウト和歌山連盟だより

葵タイムス

命名：山本　一郎

No.63 2023年 新年号
令和5年1月10日 発行
ボーイスカウト和歌山連盟
発行責任者　仙石　康盛
編　集：BS和歌山連盟編集委員会
E-mail：bs-wakayama@leto.eonet.ne.jp

令和5年 明けましておめでとうございます

新たなる年を迎えて

ボーイスカウト
和歌山連盟 連盟長
山本　一郎

明けましておめでとうございます。

３ヶ年に亘るコロナ禍の中で、県連指導者の方々には、諸行事の延期・中止の連続でのご苦労に対し全く申し訳なく思っております。

しかしこの現象は、隊・団・地区・県連のみならず全国に及ぶものであります。いざ、行事実施に及んでも、「スカウトの集まりをどのようにするか」そして「集まったスカウトをコロナから守るにはどうすべきか」等々リーダーの皆さまのご負担には限りがありません・・・。

そして団にとっても、育成会員の皆さまがどのように思っておられるのか？スカウトの密の問題や中止・延期等による団費の問題も含め心配なさる事が多々あることでしょう。しかし、心配は無用です。リーダーがスカウトを集める際には「万全の対策」を取っております。また色々な工夫をこらしてスカウトを守ることに専念しておりますのでご安心ください。

私たちリーダーは、例えどのような状況下にあっても、スカウト達が「将来世の中のためになる、そして自身が幸せな人生を送ることができる『一人前の人間』に育てる」という目的に向かって、共に全力で頑張って行きましょう！

いやさか！

初　夢

ボーイスカウト
和歌山連盟 理事長
仙石　康盛

三　指

●２０２２年８月８日「ジャンボリーサマー2022　IN　WAKAYAMA」も盛大のなか無事終了いたしました。スタッフ全員コロナの感染防止対策を十二分に考えたなかでのプログラムでした・・・。

●１１月には「日本連盟創立１００周年記念式典」も無事終了。明けて２０２３年が始まりました。２０２０年からスタートした「コロナ非常事態宣言・蔓延防止策」もすべて解除され、令和５年「卯年」は清々しい希望に満ちた新年です。

和歌山連盟の登録人員も1,０００名を超え、また、西側諸国も、「ウクライナ紛争」が終結して「黒海には穀物を満載した貨物船」が行き来しております。そして、石油問題も以前に戻り「電気代金」も下がりました・・・？

と言う初夢が、本当に「正夢」となっていくことを望んでおります。

今年は、２５ＷＳＪが韓国で開催されます。我々も世界を見つつ大きな夢を持って、皆さまと力を合わせ、『スカウトを主役』とする、スカウト運動に邁進していきましょう！

弥　栄

和歌山連盟
コミッショナー
中谷　新治

新年あけましておめでとうございます。本年も宜しくお願い致します。
さて、新型コロナウイルスの影響で、長らく活動も停滞しておりましたが、徐々に普段の生活に戻りつつあります。我々の活動の基盤は野外にあります。スカウティングを止めることなく、今こそ外に出て活発な活動を。団の純正な発展に繋がるよう日常活動を充実させ、また地域でのスカウト運動の普及にも力を入れてください。

ボーイスカウト組織の基本は、団であります。その団が元気でないと、この運動も発展しません。充実した団運営を図るため、指導者の育成とスカウト募集をしっかりと行ってほしいと思います。コミッショナーグループ及びトレーニングチームも個々の課題に対し、支援させて頂きます。

「Scouting　Never　Stops」共に頑張っていきましょう。

草田さん「かっこう章」受章おめでとう!

令和４年５月２８日に開催されたボーイスカウト全国大会において、栄えある「かっこう章」を受章されました。

県連盟理事　**草田　英嗣** 氏

祝

和歌山第１８団 植木スカウトが頑張って「富士章」を取得！

令和３年９月１０日付富士章取得。同年１０月の県連盟理事会の席上で、山本連盟長より授与されました。尚、令和４年「皇室の表敬訪問」に出席しました。

県連事業の報告　2022 年 4 月～12 月

【指導者養成委員会】

第 31 回ボーイスカウト講習会
令和４年６月５日・県立紀北青少年の家

今回は、大学ローバー６名を含めて８名、平均年齢２４歳と若い参加者でした。講習会では、スカウト運動の歴史、目的、各部門の活動、方法などを学んでいただきました。

ハイキングでは、班活動を体験していただき、各ポイントの課題に協力して取り組み、楽しい時間を過ごしました。参加をされた大学ローバー、若い指導者等の今後の活動に期待します。

（記・主任講師：**西田昌弘**）

第３２回ボーイスカウト講習会
令和４年９月４日・和歌山ビッグ愛

当日は、コロナ陽性者も増加傾向になる中での開設であったが、感染対策を取りながら多くの方々に参加いただいた。また、和２４団ＲＳ（和歌山大学の学生）からも参加があり盛大な講習会となった。

講習会の１コマである「スカウトハイク」を、短い距離であったが皆さん楽しんで体験された。

実に３年ぶりの和歌山地区で開設でき本当にうれしく思います。

（記・主任講師：**阪井信也**）

第 33 回ボーイスカウト講習会

３年ぶりに紀南地区で開催しました

令和４年１０月１６日(日）田辺市万呂コミュニティセンターに於いて、第３３回「ＢＳ講習会」が開催されました。受講者は田辺第１団より７名の参加をいただきましたが、全体として少なかったのが残念でした。

当日は天候にも恵まれ、ハイキングでは汗ばむ陽気の中、地元の小西トレーニングチーム員の企画で様々なポイントを経験でき、参加者は楽しく活動が出来ました。

県内でバランスの取れた指導者育成事業の展開を求められてるが、紀南地区は広範囲であるため、今後も開設時期・場所については、団の要望に則した対応が必要であると思いました。

（記・主任講師：中谷　新治）

【総務委員会】 令和４年度「組織活性化セミナー」開催報告

県連総務委員長　**平井　孝朗**

２０２２年７月３日の日曜日に、和歌山県下の全団のリーダーが集まり、県連主催で日本連盟の「組織活性化セミナー」が、県民文化会館で開催されました。
昨年度も開催予定でしたがコロナ禍のため順延されていたので、待望のセミナーとなりました。

ボーイスカウトはボランティアの団体ですが、休日でもボーイスカウト活動がますます活発になるように勉強です。５０名超の参加がありました。

内容は「全団調査の結果」「組織拡充」「広報」の３コマ。それにグループ討議です。
このセミナーは面白い！そして役に立つ！居眠りするどころか、全員、聞き入りました。さすが、講師は日本連盟の委員さんたちですね。全国各地でセミナーを開催されているので本当に引き込まれました。

このセミナーの後、団のホームページが更新されたり、ワクワク自然体験活動も実施され、各団、各隊の活動に活かされました。

【ＳＦＨ委員会】 登録前研修の変更点について

登録前研修を今年もよろしくお願いします。今回は、特別な配慮が必要なＲＳ 指導者（知的障がい等ある）は、別途手続きをすることで研修を免除できます。詳しくはコミッショナーにお問い合わせください。

セーフ・フロム・ハーム委員会委員長　加藤　隆也

～スカウトからの投稿～

2022年度表敬訪問を経験して

和歌山第18団　植木　健介

過日私は、富士スカウトとして和歌山県のボーイスカウトを代表して、秋篠宮皇嗣殿下に謁見する機会をいただきました。

コロナパンデミックの影響により、対面ではなくオンラインでの実施となりました。オンラインと云え、皇室の方とお目にかかる機会であることに変わりがありません。オンライン上でのセレモニー等の全行程及び画面に映る背景まで、確認・練習も行いました。

そして、本番。全国の優秀なスカウトと共に殿下にお会いしました。殿下は集まった全スカウトそれぞれに「富士章取得のために行ったプロジェクト」に関して、詳細な内容までご質問されました。殿下は、事前に全スカウト分のプロジェクトについて下調べをしていたそうです。そのような殿下の姿勢に深く感動を覚えるとともに、殿下が、富士スカウトに対して、社会に貢献することを強く望まれていらっしゃるように思いました。私も殿下と直接お話する機会をいただき、『自からのスカウト活動の魅力を伝えるプロジェクトについて』と『これからのスカウト活動の展望に関して』をお話することができました。

私は、今回の表敬訪問を通して富士スカウトとしての自覚を強く持つと共に、これからの自分たちが、いかにして社会に貢献していくべきかを考える良い機会になったと思います。

最後に表敬訪問の実施に当たり尽力いただいた日本連盟の関係者、宮内庁の方々並びに表敬訪問に送り出していただいた県連・地区そして団指導者の皆さまに深く感謝いたします。

紀州っ子アドベンチャーフェスタ2022　12月10日

わかやま「体験の風をおこそう」の運動推進委員会が主催する「紀州っ子アドベンチャーフェスタ2022」に、今年も出展団体として参加しました。

和歌山第24団のローバースカウトにも頑張っていただき、ガールスカウトと一緒に冒険あそび広場を担当しました。プログラムは、「未知なる宇宙への挑戦」をテーマにしたゲームです。一般参加の子供たちは、宇宙飛行士の隊員バッチを胸に、宇宙遊泳・船外活動に挑戦、更には宇宙怪獣との戦いをクリアし無事地球に帰還しました。

応募参加された皆さまには、ボーイスカウト活動に興味を持っていただけたことと思います。

（記 ・県連副理事長　矢田　嘉秀）

県連財政委員会からのお知らせとお願い

日本連盟特別維持会員拡大にご協力ください。

標記維持会員の年会費は、個人１万円・特別法人会員 10 万円です。頂いた皆さまのご厚志は、日本のスカウト運動を支えています。しかも、振り込まれた日本連盟への維持会費の約 90%が（県連へ要請額を超えた分の）和歌山連盟に「指導者養成補助金」としてバックされています。

この補助金は、財政面で当連盟運営には欠くことの出来ないものです。高齢少子化の進む現状では、県連登録費は先行きが心配です。

是非このことをご理解頂き、現会員は継続を。新たな個人会員並びに法人会員の獲得に皆さまのお力添えをお願い致します。

※新規にご協力頂ける方は：財政委員長　奥田　雅晴までご一報ください。

（TEL：090－8655－6930）

地区協議会 行事報告

【和歌山地区】

地区コミッショナー
赤居　憲

2022年秋は、３つの各部門で地区行事を開催しました。

1.【和歌山地区ボーイスカウトラリー】

２０２２年９月２５日、ボーイ部門の技能を競うボーイラリーを和歌山城・砂の丸広場で開催しました。当日は好天にも恵まれ、「ロープで空中班旗立て」「手旗信号解読」「マッチ２本で火おこし」「お堀の幅を計測せよ」の４種目で、スカウト技能を競い合いました。

2. 地区ビーバーデイ

２０２２年１０月２３日、和歌山城二の丸広場で開催しました。

今回のテーマは「忍者で修行・・お姫様を救え！」

午前中は、忍者になるための準備。衣装や手裏剣作りなどを行い、午後は朝からの準備を基に「7つの忍術修行の旅」に出ました。最後には全員がクリアして無事お姫様を救出できました。

3. 地区カブスカウトラリー

２０２２年１１月６日秋晴れの下、和歌山城二の丸広場にてカブラリーを開催しました。

今回のテーマは、「カブリンピック」。所属団を超えて臨時のチームを作り、そのチーム対抗で５つの競技の対抗戦をおこないました。いつも活動しているメンバーとは違う仲間たちで力を合わせて競技に立ち向かいました。

上位３チームには「金・銀・銅」のメダルが授与されスカウトは大喜びでした。

地区協議会
行事報告
【紀北地区】

地区ビーバー大会
「ダンボールと遊ぼう」

２年に１回のビーバー大会が、２０２２年１０月２３日（日）に那賀総合センターで開催されました。２年前のビーバー大会はコロナで中止。代わりに「おうちでスカウティング」ということで、石鹸作りを配布しました。それで対面でのビーバー大会は４年ぶりの開催です。

ボーイスカウトと遊ぼう！ワクワク自然体験の一般参加も１０名あり、保護者も含め合計１００名超の参加でした。

今回のテーマは「ダンボールと遊ぼう」。ツイストパンづくりやダンボールの巨大トンネルづくりをしました。スカウトには指令書を渡し、ビーバー大会のミッションを実行してもらいます。

地区のビーバースカウトが揃って活動するのは、今のスカウトにとっては初めての体験で、地区ならではのプログラムにスカウトは大興奮で、帰ってから、保護者に「楽しかった」と話をしたという報告を沢山いただきました。

「そこに写るは本当の歴史」　紀北地区カブ大会

11月６日、久しぶりに紀北地区協議会のカブスカウト達が集まりました。場所は奈良県明日香村。この地で１４００年前の歴史を「歩いて撮って、触れてみる」フォトロゲイニングを楽しみました。

スカウト達は、５色の混成チームに分かれ、渡されたスマホカメラで「リスト通りのポイント写真」を撮っていきます。写真は出来るだけ多く、撮影順序を考え、そして正確に撮影して得点を競います。単にレンズを向けただけでは撮れないアングルを、仲間で知恵を出し合いながら撮影していくので、すぐに団を超えて仲良しになるスカウト達…。コロナ禍で途絶えていた「地区交流」が復活したことを実感する、そしてその有難みを感じる大会となりました。

参加賞は、なんと食べられるバッジ「プリントクッキー」を用意し、そのデザインも特別に作って頂きました。

スカウト達からも「綺麗なので食べるのがもったいない」「美味しいので、もう一枚欲しい」。大人からも「私たちの分もありますか？」と大変好評でした。

紀北地区副コミッショナー
丹生　克生

紀北地区「18NSJ 訓練キャンプ」

この夏の第１８回日本スカウトジャンボリーは中止となりましたが、紀北地区は事前にスカウトに訓練キャンプを行いましたので報告します。

２０２２年４月２９～３０日。場所は標高１０００m近くの高野山スキー場。夜の冷え込みが心配でした。初日、午前はどうにか天気は大丈夫でしたが午後からは荒天です。冷たい雨が降り明け方には氷点下近くの気温。それでもボーイスカウトですから、たくましく野営を行いました・・・。

開会式の後のプログラムは、雨なので高野山霊宝館の見学。宗教心を養います。夕食は丸鶏を使った料理コンテスト。ローバースカウトの配給ラッパにて、配給を知らせ、各隊が一品ずつ、コンテストに提出し奉仕者で品評しました。１位は伊都５団の炊き込みご飯で、優勝賞品をゲットです。

夜のプログラムは高野山奥の院のナイトツアーで、地区の指導者養成委員長の伊都１団の吉川委員長の案内で巡りました。スカウトとしての基礎訓練も行いました。夜は中谷県コミッショナーとジャンボリーに向けて隊長会議を行いました。

今回は豪雨、強風、快晴、極寒と様々な天候を体験でき、スカウトには良い勉強になったと思います。

コロナにまけるな！（和歌山地区協議会）
頑張る各団・活動アラカルト

Scouting Never Stops!

和歌山第 14 団
「小雨決行の団キャンプ」　団委員長　土橋　弘

１２月１７日～１８日小雨降る中、年末の忙しい予定を変更することなく西松江公園をお借りして実施しました。

草刈り等は、１２月７日に済ませており、今回は、スカウト１名の「炊事章」に挑戦するためと、翌日のユニセフ募金活動が目的でした。

石油ストーブ２個で暖を取り、一酸化中毒予防のアラーム機能付きの計測器を利用しました。大型テントの中に個人用テントを張りましたが、真夜中には霰も降って冷え込んできました。翌１８日は、風のある寒い日で、午前１０時～１１時までの１時間はとても長く感じられました。しかし、募金をしてくださる方々の笑顔、「寒いのにご苦労さま」等の思いやりの言葉を聞くと、その人の普段の生活から生き方まで見えてくるような気がします・・。

募金活動は、単なる金集めだけでなく、活動を通じて人々の善意を体験できる行為と感じております。きっとスカウトもそう思っていることでしょう。今回の団キャンプは、寒かったですが良いキャンプでした。

2022 JOTA-JOTI 参加報告

和歌山第１８団　BS 隊隊長　島本　博明

世界中のスカウトが 10 月の第 3 土曜日午前０時から日曜日の 23 時 59 分まで各国の時間で JOTA アマチュア無線・JOTI インターネットを使って交流しました・・・。

私たち和歌山第１８団と海草第１団のカブ隊・ボーイスカウト隊・ベンチャースカウト隊で協力しあって 2022JOTA-JOTI に参加しました。

●JOTA では、国内のボーイスカウト関係のアマチュア無線体験局とスカウト同士での無線通信を経験しました。

●JOTI では、カブ隊が時差の少ないアジア・オセアニア地域や国内のスカウトと Skype で身振り手振りで忍者の真似をしたり、けん玉を披露したりしてスカウト同士の交流を楽しみました。

ボーイスカウト・ベンチャースカウトは、金曜の夜から泊まり込みで、主にヨーロッパ・アメリカ・アジア各国のスカウト達と「ソング」を一緒に歌ったり、「かたことの英語でジョーク」を言って笑ったり、朝まで盛り上がっていました。

《和歌山第２１団》

「スカウトの日」の取り組み

９月１１日に「スカウトの日・缶トリー」を実施しました。県営紀三井寺公園から浜の宮海岸まで清掃奉仕をし、海岸ではベンチャースカウトから、カブ・ビバースカウト達に『はぐれプラゴミ・海洋ゴミの弊害』について発表がありました。

カブ達からは、紙芝居でわかりやすく、「プラスチックのポイ捨て」の弊害と海洋ゴミの削減の必要性が分かったと好評でした。

記・和 21 団　事務局

和21団・和24団 合同ローバースカウト隊活動報告

その１：「アワイチ？」に参加して

淡路島を一周するサイクリング、通称「アワイチ」を実施しました。21団ローバー隊が企画し、２４団のスカウトと合同で行いました。過去にも何度かサイクリングは経験してきましたが、淡路島は特にアップダウンが激しく、走りごたえのある２日間になりました。

海岸線に沿って走る班と、島の内陸部を走る班の２班に分かれて挑戦することで、多くの発見がありました。また天気が良く、素敵な出会いや次に生かせる学びもあり、充実したサイクリングになりました。それぞれの班にパンクや転倒のアクシデントもありましたが、事前の準備のおかげでなんとか乗り越えることが出来ました。

和歌山第21団 ローバースカウト 中家　貴博

その２：「ゼロ富士」に挑む

日本人としてやっておかなければならないと思っていたのが富士山登山でした。せっかく登るなら海抜0mから登頂したいと思い、ゼロ富士に挑むことになりました。

５月から低山の名草山、岩登りの六甲山、長時間歩行の高野山、高度順応に立山と目的を持って一歩ずつ段階を踏みながら訓練してきました。そして８月に２泊３日で計3776mを１人も欠けることなく登り切り、山頂では美しい景色を見ることができました。

大きな目標を達成することができたのは、思いやりのある尊敬する仲間たちと様々なことを教えてくださり支えてくださった隊長・副長のおかげだと思っています。段階を踏むごとに個人の成長はもちろん、チームワークも高まり様々な場面で支え励まし合う姿を見ることができました。

富士山登頂という目標に向かってやってきたこれまでの活動で多くの学びや思い出を得ることができました。

このような一生忘れられない貴重な体験をさせてくれた仲間と隊長・副長に感謝しています。

和歌山24団 ローバースカウト 大前　陶子

和歌山第２２団ビーバー＆カブ隊

和歌山２２団のビーバー・カブ隊は、コロナ感染のリスクを軽減するため、なるべく野外で活動するプログラムを行っております。

そのような活動のなかで一般の人がやって来ない浦島キャンプ場は、理想的な場所で、毎年利用させて頂いております。

本年度は、浦島キャンプ場にある大きな木と竹を利用して、ロープワーク訓練と実践をかねたブランコ作りに挑戦しました。

波の音と心地良い潮風を感じながら、木の枝にたくさんのブランコをこしらえ、みんなで楽しく過ごすことができました。このような活動が出来るのも、日頃からキャンプ場の保守に尽力してくれている方々のお陰です。この場をかりて感謝いたします。

副団委員長 加藤　隆也

海草第１団

記・赤居　憲

「活動紹介」その１

ジャンボリーサマーIN 高野山

2022/8/3～8/8

2022年は日本ジャンボリーがコロナのため分散開催となり、県連開催のジャンボリーサマーも中止となる中、高野山に場所を移して和歌山地区の仲間たちとジャンボリーサマーin 高野山を開催しました。

会場の高野山スキー場は、毎日突然の落雷や夕立があったりしたけど、ヒグラシが鳴いて涼しい環境で５泊６日のキャンプを過ごすことができました。

ビア缶チキンやアマチュア無線体験、日本一プログラムへの挑戦などのプログラムに取り組みました。

海草第１団「活動紹介」その２

ビーバー隊・芋掘り集会

2022/10/30　（赤居　憲）

　10月のビーバー隊集会は「芋掘り集会だ！」和歌山市布引の農園にてビーバースカウトたちが、さつまいも掘りに挑戦しました。

　当日はお天気も良くて、スカウトたちはおよそ３時間で軽トラの荷台いっぱいのお芋を掘ることができました。

　掘ったお芋は、みんなで山分けし、大事に各家庭に持ち帰りました。お家では、色んな食べ方で楽しんでもらえたことでしょう・・・。

海南第１団

自主防災訓練を実施しました

事務局　南方　宏文

　９月11日、海南市黒江の浄国寺公園をお借りして防災訓練を行いました。参加者は10名。

先ず非常時に持ち出す「防災セット」のグッズを皆で検討し、リュックに詰め背負ってみました。検討した中身は、非常食３日分・乾パン・給水袋・軍手・洗面具一式・タオル・新聞紙・マッチ・紙コップ・ウェットティッシュ・ポリ袋・ラジオ・スマホ充電器・アルコール液・絆創膏・ハサミ・カッター・マスク・固形燃料・救急用品・スリッパ等とヘルメット、飲料水はリュックに２Ｌまでが良いか？これらを実際に背負ってみると、かなり重い。後３～４本は別に持つことにしました。

《作 業 活 動》下記の４つの作業をおこないました。

●ブルーシートを使っての簡易テント作り：三角テント、タープ、簡易トイレの囲い等約２０分で完成。

●アルミ缶で炊き込みご飯：ビール缶やジュースの空き缶を利用。その他、さば缶・調味料等　３０分。

●段ボールの簡易ベッド作り：空段ボール(３５㎝×５０㎝×４０㎝)6個まとめガムテープで固定。

●新聞紙でスリッパやポリ袋と併用し簡易トイレ等も作る

上記の作業の後、ハザードマップを見て、現地から近くの避難場所を確認し避難訓練を行いました。

自然災害には、いつどこで災難に遭うかわかりません。訓練を繰り返し行うことで、身体で覚えましょう。

BE PREPARED　THIS IS OUR MOTTO

コロナに負けるな！（紀北地区協議会編）頑張る各団の「活動アラカルト」

Scouting Never Stop!

那賀第2団：ワクワク自然体験

２０２２年１１月２０日(日) 名手児童館に集合して午前９時～１２時まで「ワクワク自然体験」を実施しました。

前半は海賊からのミッションをこなす「ポイントハイキング」を行いました。途中、雨の降る中、全員無事にミッションをクリアし「宝の地図」をゲットして海賊からの招待状を獲得し大喜びしていました。

後半は、名手児童館内で、丸太を切ったものに、各々が好きな木の実や葉っぱを張りつけて「木製のキーホルダ」を完成させていました。

那賀第４団：ジャンボリーサマー

BS 隊長　**樫葉　研二**

この夏はコロナに翻弄され、待望の「ジャンボリーサマー2022 IN WAKAYAMA」が中止となりました。スカウトはとても楽しみにしていたので、指導者・団委員さん協力のもとに那賀第４団で、急遽５泊６日の隊キャンプを企画しました。

スケジュール等は中止となった「ジャンボリーサマー」をベースにＢＳ隊仕様に組み替えて実施しました。安全を期すために「抗体検査」はもちろん、

感染対策として一人に１テント、熱中症対策に団委員長提供の「ミストシャワー」を設置しました。

楽しみの食事は、鶏飯・青森Ｂ級バラ焼きもいただきました。

プログラムは場内施設のトランポリン、プール、鰺の早朝釣り、焚き火など・・・楽しいことばかりではなく、進歩進級も絡めて工夫しました。ナイトプログラムとして「花火」は、スカウト達にとっては、やはり高評価だったと思います。

このキャンプがスカウト達にとって有意義だったのか不安でしたが、解散の時に楽しそうに帰るスカウトを見て、実施して良かったと思いました。

コロナを越えて、伝統の行事も復活していく･･･橋本第２団

橋本第２団で 代々受け継がれてきている行事「オーバーナイトハイク」が、11月19日、コロナ禍の自粛を超え、久しぶりに復活しました。

ビーバー･カブ隊は独自の10キロコースを設定し、無事全員の「笑顔のゴール」を迎えました。ボーイ隊は、伝統の「五條市～橋本市間コース」32km を雨の中アタック。くまスカウトも上進を控え、ボーイ隊に帯同するのが我ら「橋２流」。

雨の寒さと眠気、足の痛さに耐えながら、先輩スカウトと一緒にゴールを目指し、無事に翌朝６時50分、団ハウスに帰還してきました。

帰ってきたスカウト達は一回り大きく成長したようで、達成感に溢れた表情を見せてくれた。経験を通じて得られるものの大きさを感じることが出来ました・・・。

時には辛いと感じる瞬間があっても、仲間と共にシェア出来るものであれば、なんでも結果的には、「成長の糧」になるものだなと感じました。

昨春から仲間が増えました

御坊第1団　カブスカウト隊長

柚瀬　真規子

令和３年度まで、ビーバースカウト１名だった我が団に、春からカブスカウト１名ボーイスカウト１名が入団しました。

ビーバーからカブに上進した１名と合わせてカブスカウト２名（うさぎ１名・しか１名）、ボーイスカウト（小６）１名の３名で、昨年度スタートしました。

５月にデイキャンプ、６月には蛍が見られる川沿いで一泊キャンプ。９月はプラごみバスターズ（スカウトの日）、１０月末に日高川町で一泊キャンプ、１１月は焼き芋パーティーと活動してきました。

魅力あるプログラムを採り入れて「楽しく活動」する、そして人数が少ないので、できる限り参加率１００％を目指し頑張っています。

伊都第5団◆「団クリスマス会」

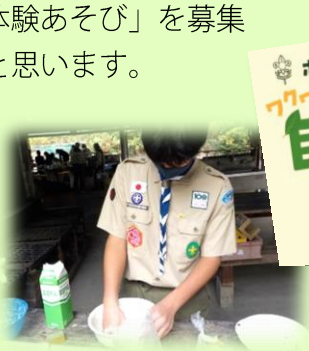
ボーイスカウト伊都第５団の「団クリスマス会」を２０２２年１２月１１日に紀北青少年の家で開催しました。今年のクリスマス会は「ワクワク自然体験あそび」の募集も行い、一般参加の子どもにも体験してもらいました。定員を２０名に設定し、案内を近隣の小学校（１～２年生を対象）に配ったところ、直ぐに定員をオーバーする申し込みが来ましたので、慌てて日本連盟に締め切りインフォメーションをお願いしました。

参加人数は伊都第５団(団委員・指導者・スカウト・保護者・体験者)３２名、ワクワク自然体験（子供・保護者)３１名という大所帯になりました。

大研修室での開会セレモニーには、伊都第３団の草田団委員長が参列してくれました。午後野外炊事場に移動してピザの生地作り、発酵するまでの時間、大研修室に戻りリース作りを行いました。

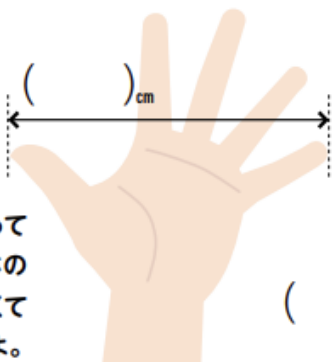
一時間半後、トッピングをしてピザを焼きに入りました。焼きたてのピザはスカウトより保護者が感動して美味しく食べていました。

本年度の「団クリスマス会」はスカウトを増やすためにと考え、紀北地区協議会の指導のもと、「ワクワク」で参加者を募集しました。クリスマス会が終わってからの反応はとても好評でした。数家族がボーイスカウトの活動に非常に関心をもたれ、１月の隊行事（初詣・初釜）に体験参加をすることになりました。次回の団行事も「ワクワク自然体験あそび」を募集したいと思います。

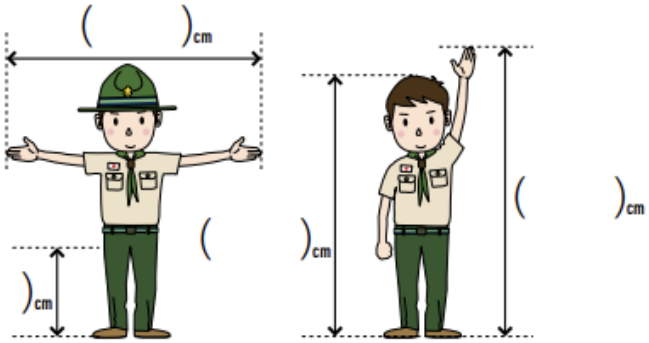


はかってみよう
知っていると便利な長さ

手と広げた長さと身長は同じって本当？　身近なモノや自分の体の長さを知っていると、定規がなくても色々なモノの大きさがわかるよ。



ボーイスカウトになろう！



田辺第１団カブ隊 ガレージキャンプ

我がカブ隊では、コロナ禍の中、宿泊を伴う活動にも積極的に新しいアイデアに挑戦しています。去年は「車中泊」、今年は「ガレージキャンプ」です。土曜日の夕方に集合し夕食とテント泊。翌日は朝食をとって、その後は地元の磯・天神崎の清掃活動にも参加しました。

この中で、今回の目玉は何といってもテントに寝ること、次に、朝食です。
初めてのテント泊。スカウトのみんなはテントに潜り込むのが楽しそうでした。そして朝食
今年のカブ隊のキャンプ飯は、無添加という重要テーマを設定しています。ですので、味噌汁は前夜から鰹節・昆布・煮干しで出汁を取ったものです。

みんな自分で作った味噌汁の美味しさに驚きながらの朝食となりました。

田辺第１団ビーバー隊 第31回 ナイトハイク

秋の恒例行事「ナイトハイク」にビーバー隊員１１名、兄弟・保護者・指導者と約３５名で参加しました。

ビーバー隊のコースは、新庄公園を出発し、とれとれ市場や白浜駅を通り、新庄公園に戻ってくる約 10km のアップダウンの厳しいコースです。

夕闇が迫るのを待って出発です。最後まで歩き続けられるか、寒くはないか、事故にあわないか‥。大人の心配をよそに、子供たちはエンジン全開フルスロットルです。途中何度か設けた休憩中も、走ったり、鬼ごっこをしたり。

夜が更けた２２時、最後はみんなで元気いっぱい手をつないでゴールしました。きっと一人では歩くことができない距離だと思います。仲間がいると自然と力が湧いてくるのを感じました。　　（ビーバー隊副長　**亀田　旭洋**）

【プログラム委員会】

目指せ「富士章」を！

コロナ禍で活動は色々制限されますが、この期間こそ、自分自身で工夫をしながら、ステイホームでコツコツと技能章の習得に取り組んでください。スカウト活動の根幹は、進歩・進級です。困ったことがあれば、仲間に、隊長に気軽に相談してください。きっと素晴らしい指導・援助が得られますよ。

令和４年度「進歩進級」取得者一覧表　(2022/4/1～12/31)

章　名	団　名	氏　名	交付日
菊　章	和歌山第21団	雑賀　亮太	2022/4/25
信仰奨励章	和歌山第21団	西田　圭佑	2022/4/8
野営章	和歌山第18団	平井　志江理	2022/4/5
	和歌山第21団	西田　圭佑	2022/4/8
	和歌山第18団	宗宮　湧希	2022/11/23
野外水次章	和歌山第21団	西田　圭佑	2022/4/8
	和歌山第18団	宗宮　湧希	2022/6/7
公民章	和歌山第18団	平井　志江理	2022/8/16
パイオニアリング章	和歌山第18団	島本　嶺	2022/8/16
リーダーシップ章	和歌山第21団	西田　圭佑	2022/4/8
	和歌山第18団	平井　志江理	2022/4/5

章　名	団　名	氏　名	交付日
ハイキング章	和歌山第21団	西田　圭佑	2022/4/8
	和歌山第18団	植木　脩吾	2022/8/15
スカウトソング章	和歌山第21団	西田　圭佑	2021/9/5
	和歌山第18団	植木　脩吾	2022/7/19
計測章	和歌山第21団	西田　圭佑	2021/9/5
	和歌山第18団	宗宮　湧希	2022/11/23
通信章	和歌山第18団	島本　嶺	2022/11/23
無線通信章	和歌山第18団	島本　嶺	2022/10/30

県連プログラム委員長
藤田　弘治

～代表スカウトからの投稿～

100 周年記念式典参加報告

100 周年記念式典に参加して感じたこと

今回、私はボーイスカウト１００周年記念式典に、参加させて頂きました。

会場には、天皇皇后両陛下や岸田内閣総理大臣、永岡文科大臣、そして、ボーイスカウト振興国会議員連盟の塩谷副会長など素晴らしい方々とお会いすることが出来ました。

また、天皇陛下や内閣総理大臣にお会いできるのは一生に一度あるかないかという、すごく貴重な体験ができて本当にうれしく思います。

これだけで、私はボーイスカウトを続けてきてよかったとつくづく思いました。

今回の式典に参加させていただき、すごく嬉しかったです。

和歌山第 18 団
ボーイスカウト隊　宗宮　湧希

100 周年記念式典に参加して感じたこと

今回、100 周年記念式典に参加させていただき、ボーイスカウト運動の持つ力の大きさを改めて感じました。

ボーイスカウト日本連盟が始まって 100 年という長い時間が経って、なお、ボーイスカウトがこのように活気あるのは、私たち以前の諸先輩方の努力の結晶であると思います。

今回、天皇皇后両陛下、岸田内閣総理大臣等がこういった記念式典にご臨席されるということは、ボーイスカウトという組織がどれほどに社会貢献をしてきたかを改めて感じました。

そして、こうして受け継がれてきた、ボーイスカウト活動を、私たちボーイ、ベンチャーの世代で受け継いでいき、スカウトとしてもっともっと努力していきたいと思います・・・。

和歌山第 18 団
ベンチャースカウト隊 島本　嶺